

## 学術調査WGにおける「作業コア部隊」について（素案）

### 《灘岡委員提案》

『石西礁湖の衰退原因をはっきりさせ、効果的な処方を提案するのが学術WGの重要なミッションと考える。本WGは、協議会の中の組織として、WGメンバーが主体的に提案する必要がある。そのために、数名（6人程度）で「作業コア部隊」のようなものを新たに組織し、調査データ等の整理・分析・提案などを行ってはどうか。』

⇒前回（第一回）のWG内で、具体的な内容については今後議論するとしながら、「作業コア部隊」についての概ねの方向性は合意された。

上記提案を受けての事務局案…

### ＜体制・部隊メンバー案＞

- ・石西礁湖で実際に調査を実施している、もしくは多くの実施経験を持つ研究者・調査員を中心に。
- ・部隊メンバーは環境省石垣ROと共同でWG事務局となっていただく。

### （現時点の部隊メンバー案）

灘岡（東工大）、照屋センター長・名波・鈴木（西海区水研）、秋田（県水産研）、吉田（八重山サンゴ礁保全協議会・海游）、木村（自然研：環境省モニタリング調査員）、上野（環境省モニタリング調査員）

### ＜実施頻度、場所＞

頻度：年に4－6回、1回につき2，3日程度、集中的に実施。

（うち数回は学術調査WGの開催に合わせて実施）

場所：国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター（石垣）

### ＜討議内容＞

- ・衰退原因の究明：まずは、既存の調査データの整理・分析・提案
- ・処方の提案：必要な対策について討議
  - ⇒結果を学術調査WGで共有・議論
  - ⇒基本的に、討議内容に関しては部隊メンバーに委ねる。